

弘前市総合計画

～みんなで創り みんなをつなぐ あずましいりんご色のまち～

概要版

2019年3月策定
2020年3月改訂





計画策定の趣旨と計画の構成

計画策定の趣旨

弘前市総合計画は、地域づくりの最上位計画としてまちづくりの方向性を明らかにするもので、行政運営の最も基本となる計画です。

人口減少や少子高齢化の進行に伴う様々な課題をはじめ、今後も、複雑・多様化する地域課題に迅速かつ効果的に対応し、歴史、文化資源や豊かな自然環境に恵まれた、この住みよい「あずましい ふるさと」弘前市を次世代に引き継ぐため、新たな総合計画を策定し、市民との協働のもと持続可能なまちづくりを着実に進め、市民の幸せな暮らしの実現を目指します。

計画の構成

計画の構成は「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3層構造としています。

(1) 「基本構想」

基本構想は、将来都市像を定め長期的な展望のもと総合的かつ普遍的な市の方向性や政策の方針等を示すものです。計画期間は2040年頃の将来都市像を見据えつつ「2019年度から2026年度までの8年間」です。

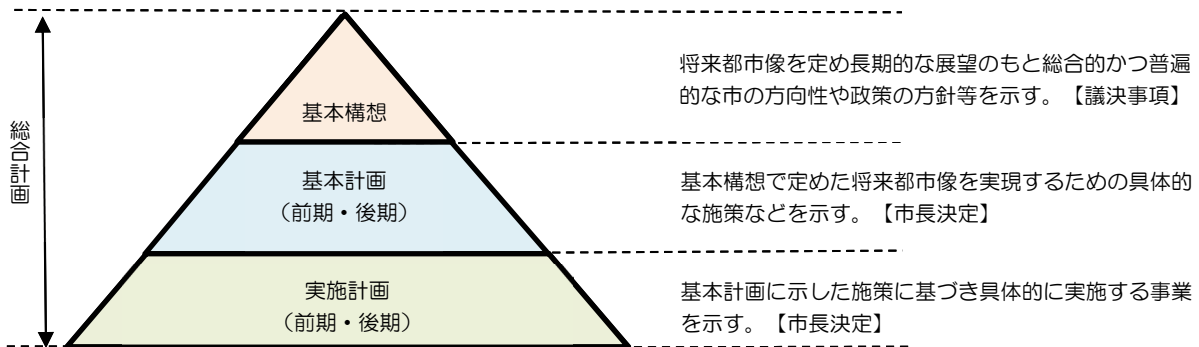
(2) 「基本計画」

基本計画は、基本構想で定めた将来都市像を実現するための具体的な施策などを示すものです。計画期間は前期4年、後期4年です。

(3) 「実施計画」

実施計画は、基本計画に示した施策に基づき具体的に実施する事業を示すものです。計画期間は基本計画と同じく前期4年、後期4年です。

【計画構成のイメージ】



【計画期間のイメージ】

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
基本構想 8年							
前期基本計画 4年				後期基本計画 4年			
前期実施計画 4年				後期実施計画 4年			



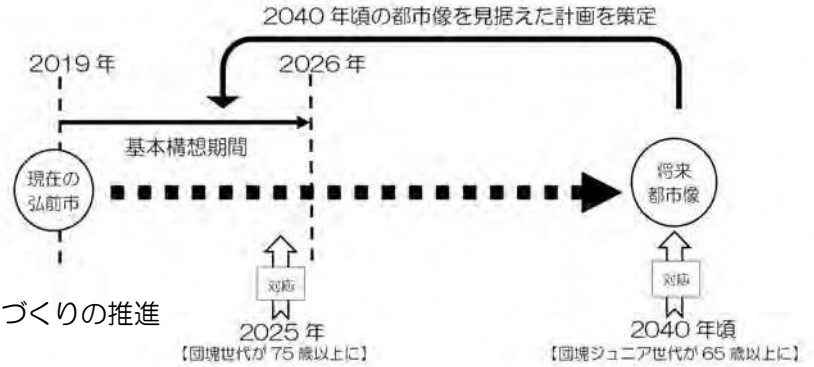
基本構想

基本構想の意義

基本構想は、将来都市像を定め長期的な展望のもと総合的かつ普遍的な市の方向性や政策の方針等を示すものです。

計画期間

計画期間は2040年頃の将来都市像を見据えつつ、2019年度から2026年度までの8年間とし、喫緊の課題である2025年の人口構造の大きな変化にしっかりと対応します。



基本構想の理念

- (1) 弘前の風土と安心・快適な暮らしの継承
- (2) 市民の主体性を尊重した協働によるまちづくりの推進
- (3) 人口減少社会に対応した地域間の連携

将来都市像

みんなで創り みんなをつなぐ あずましいりんご色のまち

弘前の象徴であるりんごには品種、色、味、大きさ、形など様々あるように、弘前のまちにも、多様な人々、地域、資源があります。それらがまちに活気と活力そして愛着と誇りを生み出すことで、まちを進化・成長させていきたいという思いを『りんご色』に込めています。『あずましい』は「心地よい」「安心できる」などを一言で表す、津軽の人にとって大切な言葉です。『あずましい』には、豊かさや幸福感が得られる、誰もが住みよいまちになりたいという思いを込めています。

弘前市は、市民や企業、大学、行政など「みんな」が丸となって、地域を担う人材や新しい魅力、地域コミュニティなど新たな「ひと・もの・こと」を創り出し、先人から受け継いだ弘前の美しい自然と風格ある歴史・文化とともに「みんな」を次世代へつなぎ、『あずましさ』が実感できるまちを目指します。

将来都市像を実現するための5つの政策方針と仕組み

「将来都市像」を実現するため、「5つの政策方針」とそれを支える「仕組み」を定め、分野横断的に取り組みます。

1 将来の弘前を担う多様な人材が育つまちづくり

将来を担うひとづくりを進め、あらゆる分野において、これからの弘前を支える人材育成を推進します。



2 地域共生社会の実現に向けたまちづくり

健康的な暮らしと市民一人ひとりがお互いを尊重し、支え合う、地域コミュニティの形成に取り組みます。



3 地域資源を活かした魅力的な産業のあるまちづくり

農業、商工、観光産業の活性化などに取り組み、地域経済の活性化を推進します。



4 快適な雪国生活と安全・安心で環境にやさしいまちづくり

雪に強いまちづくりや地域防災力などの強化、防犯・交通安全対策やごみの減量化・資源化などの取組を推進します。



5 景観保全と都市基盤の整備による持続可能なまちづくり

景観資源の保全・活用や交通網の整備、空き家・空き地対策、道路の補修など快適な住環境等の整備を図ります。



仕組み

協働によるまちづくりの推進、市内大学との連携、AI（人工知能）、RPA（ロボットによる業務自動化）などの新技術の導入による市民サービスの向上や周辺市町村等との連携などにより、地域の維持・活性化を図ります。



前期基本計画

基本方針

(1) 快適で安心な市民生活の実現とひとづくり

- ①市民の「くらし」を支える
- ②市民の「いのち」を大切にする
- ③次の時代を託す「ひと」を育てる

(2) 喫緊の課題への着実な対応

- ①地域コミュニティの維持・活性化
- ②2025年の人口構造の変化に向けた早期からの対策

前期基本計画の構成

将来都市像の実現に向け、重点的かつ分野横断的に取り組むものを「リーディングプロジェクト」として設定し展開しています。また、基本的・総合的な取組として「分野別政策」を位置づけ、計画の基本としています。

リーディングプロジェクト

<p>①</p> <p>誰もがいきいきと活動 できる快適なまちづくり</p> 	<p>少子高齢化による高齢者等の除雪困難者の増加に加え、さまざまな分野における担い手不足等が課題となっている中、効果的な雪対策の推進や新産業の創出に向けた取組、地域の見守り体制の強化を図ることなどにより、市民のくらしに寄り添い、高齢者や障がい者等の誰もがいきいきと活動できる地域共生社会の実現を目指します。</p>
<p>②</p> <p>安心できる医療体制と 健康長寿の推進</p> 	<p>本市の平均寿命は全国平均と比べると低く、肥満傾向児の出現率も全国平均より高い状況にあることから、食育や検診受診を強化するとともに、中核病院を早期に整備し、安心して病气やけがの治療を受けることができる体制を創出するほか、介護や福祉施策の充実を図ることにより、市民が健康長寿のまちを目指します。</p>
<p>③</p> <p>地域を担うひとづくり</p> 	<p>将来も活力ある地域づくりを進めていくため、学校と地域が協働し、学校教育のみならず地域の力で子どもが育ち、子どもと親と一緒に育つとともに、地域を担う人材を育成する必要があります。また、さまざまな分野において、地域の産業などに親子で直接触れる機会を積極的に創出し、地域への愛着や誇りを育みながら職業観を醸成することにより担い手の育成を図り、次の時代を託す人材が活躍するまちを目指します。</p>
<p>④</p> <p>つながる・支える 地域コミュニティ</p> 	<p>今後さらに人口減少や少子高齢化が進行する中、地域全体で支え合って課題に取り組む必要性が増しているため、市民との協働によって市民生活の基盤である地域コミュニティの維持・活性化を図り、市民がお互いに支え合い、安心して暮らすことのできるあたたかいまちづくりを目指します。</p>
<p>⑤</p> <p>2025年に向けた 早期対策の推進</p> 	<p>2025年頃には少子高齢化の人口構造にさらに拍車がかかり、保健・医療・福祉ニーズの増加や地域経済の縮小、空き家の発生、各分野における担い手不足の進行などが懸念されることから、快適な住環境の整備や地域経済の活性化、各分野の担い手確保などを早期から行い、安心で活力のある住みよいまちを目指します。</p>

分野別政策

① 学び	② 文化・スポーツ	③ 子育て	④ 健康・医療	⑤ 福祉	⑥ 雇用	⑦ 農林業	⑧ 商工業	⑨ 観光	⑩ 環境・エネルギー	⑪ 安全・安心	⑫ 雪対策	⑬ 都市基盤	⑭ 景観・文化財	⑮ 移住・交流	⑯ 市民協働
------	-----------	-------	---------	------	------	-------	-------	------	------------	---------	-------	--------	----------	---------	--------



リーディングプロジェクトの具体的な取組と効果

1 誰もがいきいきと活動できる快適なまちづくり

期待する効果（アウトカム）	プロジェクト指標		
	指標	基準値	目標値（2022年度）
● 効果的な雪対策やごみ排出量の削減等が図られます。	冬期間における安心・快適な生活が送れていることに満足している市民の割合	26.1% (2018年度)	28.7%
● 農業の生産基盤の保持や新産業の創出により、地域経済の活性化が図られます。	一人当たりの農林業生産額	1,892千円 (2015年度)	1,956千円
● 高齢者や障がい者等も安心して生活できる住みよいまちの形成が図られ、地域共生社会が実現します。	障がい者が安心して生活できるまちであると思う市民の割合	25.5% (2018年度)	30.0%

2 安心できる医療体制と健康長寿の推進

期待する効果（アウトカム）	プロジェクト指標		
	指標	基準値	目標値（2022年度）
● 市民が安心して生活できる医療体制の整備が図られます。	複数の診療科の協働による高度・専門医療の提供	弘前市立病院 12診療科 国立病院機構弘前病院 18診療科 (2018年度)	新中核病院 24診療科
● 子どもから高齢者まで地域一体で健康意識が高まり、健康寿命の延伸が図られます。	肥満傾向児の出現率	小5男 12.4% 小5女 10.4% 中2男 8.1% 中2女 8.3% (2017年度)	小5男 9.9% 小5女 7.6% 中2男 7.7% 中2女 6.5%
● 妊娠・出産・育児への支援が切れ目なく提供されるほか、介護を必要とする高齢者の割合が減少します。	要介護認定を受けていない高齢者の割合	80.3% (2018年度)	82.0%

取組内容（アウトプット）	先導的な計画事業（インプット）
市民が快適に暮らせるように追従除雪等による機械除雪の効率化や生活道路の計画的な補修のほか、市民との協働によるごみの減量化・資源化の推進	除排雪事業 ごみ減量等市民運動推進事業 生活道路等環境向上事業、道路補修事業 景観形成・魅力発信事業
農業の生産基盤を整備するための農道等の補修・改修の推進及びりんご産業やライフ関連産業の振興対策の推進	農作業省力化・効率化緊急対策事業 野菜等生産力強化事業 農道等整備事業 ライフ関連産業育成事業（ライフ・イノベーション推進事業）
高齢者の地域での見守り体制を強化するとともに、障がい者等が安心して生活できるような環境整備の推進	安心安全見守りネットワーク事業、ほのぼのコミュニティ21推進事業 弘前型基幹相談支援体制強化事業 就労移行支援事業、就労定着支援事業、就労継続支援事業 多様な人材活躍応援事業 地域共生社会実現サポート事業

取組内容（アウトプット）	先導的な計画事業（インプット）
市民に安定した医療を提供するため、新中核病院の整備を推進するとともに、一次、二次、三次救急医療体制を維持	新中核病院整備推進事業、先端医療体制整備事業（ライフ・イノベーション推進事業） 弘前市急患診療所運営事業、弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター運営費補助金
子どもの頃から望ましい生活習慣を身に付け、子どもと親がともに食育に取り組むとともに、働き盛り世代の検診受診環境を充実させ、健康長寿の推進	食育強化事業「いただきます!」、食育推進関係事業 がん検診受診率向上強化対策事業、胃がんリスク検診事業、大腸がん検診無料クーポン事業 20・30代健診、糖尿病性腎症重症化予防事業 ひろさき健幸増進リーダー活動支援事業、弘前市健康づくりサポーター制度、岩木健康増進プロジェクト推進事業
安心して妊娠・出産・育児ができる環境の整備、高齢者の介護予防と自立支援介護、地域包括ケアの構築、認知症対策の強化	子育て世代包括支援センター事業 高齢者介護予防運動教室事業、高齢者ふれあい居場所づくり事業 包括的支援事業、認知症支援事業

3

地域を担うひとづくり

期待する効果（アウトカム）	プロジェクト指標		
	指標	基準値	目標値（2022年度）
● 市民が地域課題の解決に自主的に取り組むようになるとともに、子どもたちが自分の夢や将来のイメージをもてるようになります。	将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合	小学校6年生 89.2% 中学校3年生 77.3% (2018年度)	小学校6年生 95.0% 中学校3年生 85.0%
● 次代の地域の産業を担う多様な人材が育成されます。	求人充足率（弘前公共職業安定所管内）	25.5% (2017年度)	30.0%
● 児童生徒が気持ちよく学校生活を送ることができるようになります。	弘前市の子どもにとって学習しやすい教育環境だと思う市民の割合	38.8% (2018年度)	50.0%
● 郷土への愛着と文化・芸術への理解が深まり、地域活動等の担い手の育成が図られます。	郷土弘前の歴史と文化遺産に親しみを感じている市民の割合	67.1% (2018年度)	70.0%

4

つながる・支える地域コミュニティ

期待する効果（アウトカム）	プロジェクト指標		
	指標	基準値	目標値（2022年度）
● 町会組織が維持されるとともに、人と人がつながり、支え合うまちづくりが図られます。	①町会加入率	①74.6% (2018年度)	①74.6%
● 地域の結びつきが強まり、担い手の育成や地域防災力の向上などが図られます。	②町会活性化支援補助金を活用して実施した事業数（累計）	②10件 (2018年度)	②217件
● 地域全体できめ細かな支援や取組が行われ、安心な市民生活の実現が図られます。	市民参加型まちづくり1%システム支援事業における新規事業の採択数（4年間の平均値）	27件 (2018年度)	30件
	学校や地域の子どもの活動に協力した人の割合	26.4% (2018年度)	31.6%

5

2025年に向けた早期対策の推進

期待する効果（アウトカム）	プロジェクト指標		
	指標	基準値	目標値（2022年度）
● 高齢者福祉に寄与するとともに、市民や観光客なども活動しやすい都市の形成が図られ、地域活力の向上が期待されます。	公共交通の利用者数	4,606千人 (2014年度)	4,752千人
● 市民や観光客の活発な消費活動により、地域経済の維持・活性化が期待されます。	①中心市街地の空き店舗率	①8.8%	①6.5%
	②中心市街地の通行量	②15,376人 (2017年度)	②23,000人
● 多様な担い手の活躍や最先端技術の導入により、地域経済の活力と競争力及び行政サービスが向上します。	求人充足率（弘前公共職業安定所管内）	25.5% (2017年度)	30.0%

取組内容（アウトプット）	先導的な計画事業（インプット）
課題解決のために企画立案し、実践活動につなげ、地域資源を活用しながら学ぶことを通じた地域への愛着と職業観の醸成	ひろさき未来創生塾
	地域産業魅力体験事業
	地域マネジメント人材育成プログラム構築事業
本市の産業を担う人材の育成	農業次世代人材投資事業
	地元就職マッチング支援事業、未来の弘前を支える人づくり支援事業
老朽化が進む学校のトイレや屋根の改修など、安全・安心で快適な学校環境の確保	小・中学校トイレ改修事業、小・中学校屋根改修事業
文化財や文化・芸術に触れることができる機会の創出、伝統芸能や伝統行事の保存・伝承の推進	文化財施設公開事業、史跡等公開活用事業
	無形民俗文化財用具修理事業
	れんが倉庫美術館等管理運営事業

取組内容（アウトプット）	先導的な計画事業（インプット）
町会と行政の協働による町会の住民同士の結びつきや担い手対策などの推進	町会活性化支援事業、町会担い手育成事業
	エリア担当制度
地域が結束する機会を支援したり、地域でさまざまな活動を行う場を整えるなど、市民力を活かした地域づくりの推進	市民参加型まちづくり 1%システム支援事業
	ひろさき未来創生塾（再掲）
	学びのまち情報提供事業
	公民館活動等活性化アドバイザー
	子どもの活動推進事業
	自主防災組織育成支援事業
子どもの教育から高齢者の社会参加まで、地域全体で支え合う環境の整備	教育自立圏構築推進事業
	放課後子ども教室事業
	高齢者介護予防運動教室事業（再掲）、高齢者ふれあい居場所づくり事業（再掲）
	民生委員等活動支援事業
	地域共生社会実現サポート事業（再掲）

取組内容（アウトプット）	先導的な計画事業（インプット）
高齢者も外出・社会参加しやすい都市の形成を進め、公共交通の利便性向上のほか、空き家対策や雪対策の推進	地域公共交通ネットワーク再構築事業、まちなかお出かけバス事業
	空き家・空き地対策推進事業
	除排雪事業（再掲）
地域経済の衰退を防ぐため、商業・観光の振興、まちなかの賑わいの創出等による消費活動の維持・活性化	商人育成・商店街活性化支援事業
	創業・起業支援拠点運営事業
	津軽圏域 DMO 推進事業
各分野の担い手不足に対応するため、担い手の育成・自立支援などに取り組むとともに、AIなどの最新技術による産業の効率化や行政サービスの低下防止	津軽塗技術保存伝承事業
	多様な人材活躍応援事業（再掲）
	自立相談支援事業、生活困窮者就労準備支援事業
	りんご産業イノベーション推進事業
	AI・IoT・RPA 等先進技術導入検討事業



分野別政策

将来都市像の実現に向けて、16の分野ごとに基本的・総合的な取組を進めます。

①学び

主な事業

- 1 地域を担う人材の育成
- 2 生涯学習体制の推進
- 3 教育環境の充実

- 未来をつくる子ども育成事業
- ひろさき未来創生塾
- 小・中学校トイレ改修事業 / 等



ひろさき未来創生塾の様子

②文化・スポーツ

主な事業

- 1 文化芸術活動の振興
- 2 スポーツ活動の振興

- 弘前市民文化祭共催事業
- れんが倉庫美術館等管理運営事業
- 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたレガシー創出事業 / 等



ブラジル視覚障がい者柔道選手と弘前大学柔道部との練習

③子育て

主な事業

- 1 弘前っ子の誕生
- 2 地域全体で取り組む多様な子育て支援

- 子育て世代包括支援センター事業
- 子育て短期支援事業（トワイライトステイ、ショートステイ）
- 子ども医療費給付事業 / 等



ひろさき子育て世代包括支援センター

④健康・医療

主な事業

- 1 生活習慣病の発症及び重症化の予防
- 2 こころとからだの健康づくり
- 3 地域における切れ目ない医療提供体制の実現

- がん検診受診率向上強化対策事業
- ひろさき健幸増進リーダー活動支援事業
- 新中核病院整備推進事業 / 等



ヒロロスクエア健康エリアでの健診の様子

⑤福祉

主な事業

- 1 高齢者福祉の充実
- 2 障がい者福祉の充実
- 3 自立・就労支援の充実

- 高齢者ふれあい居場所づくり事業
- 弘前型基幹相談支援体制強化事業
- 自立相談支援事業 / 等



高齢者のふれあいの居場所の様子

⑥雇用

主な事業

- 1 就業・雇用環境の充実

- 地元就職マッチング支援事業
- 未来の弘前を支える人づくり支援事業
- 地域産業魅力体験事業 / 等



地元企業首都圏合同説明会

⑦農林業

主な事業

- 1 農産物等の生産力・販売力の強化
- 2 担い手と農地の確保に向けた支援
- 3 農林業基盤の整備・強化

- りんご黒星病耕種の防除対策事業
- ひろさき農業新規参入加速化事業
- 農道等整備事業 / 等



改修後の農道

⑧商工業

主な事業

- 1 商活動の活性化と強化
- 2 地域を牽引する産業の育成と企業誘致
- 3 経営力の向上

- 中心市街地活性化推進事業
- ライフ関連産業育成事業
- 創業・起業支援拠点運営事業 / 等



創業サポートセミナーの様子

⑨ 観光

主な事業

- 1 観光地域づくりの推進
- 2 広域連携による観光の推進
- 3 外国人観光客の誘致促進

- 四大まつり開催事業
- 津軽圏域DMO推進事業
- 外国人観光客受入環境整備事業 / 等



弘前さくらまつり

⑩ 環境・エネルギー

主な事業

- 1 環境保全の推進
- 2 地球温暖化対策・エネルギー政策の推進

- 3キリ運動推進事業
- ごみ減量等市民運動推進事業
- スマートシティ構想推進事業 / 等



ごみ減量化・資源化の取組に関する協定

⑪ 安全・安心

主な事業

- 1 危機対応力と災害対策基盤の強化
- 2 安全・安心な生活環境の確保

- 自主防災組織育成支援事業
- LED防犯灯整備管理事業
- 通学路の安全・安心推進事業 / 等



自主防災組織による消火訓練の様子

⑫ 雪対策

主な事業

- 1 冬期間における快適な道路・住環境の形成

- 除排雪事業
- 町会雪置き場事業
- 地域除排雪活動支援事業 / 等



排雪作業の様子

⑬ 都市基盤

主な事業

- 1 持続可能な都市の形成
- 2 道路網・道路施設の整備と維持管理
- 3 安全・安心な上下水道の構築

- 地域公共交通ネットワーク再構築事業
- 生活道路等環境向上事業
- 樋の口浄水場等建設事業 / 等



改修後の生活道路

⑭ 景観・文化財

主な事業

- 1 郷土弘前を愛し、自然や歴史・文化財に親しむ心の醸成
- 2 景観形成・歴史的風致の維持向上

- 文化財施設公開事業
- 津軽塗技術保存伝承事業
- 弘前城本丸石垣整備事業 / 等



県指定文化財旧岩田家住宅

⑮ 移住・交流

主な事業

- 1 移住・交流の推進

- 地域おこし協力隊導入事業
- ひろさきローカルベンチャー育成事業
- 弘前圏域移住・交流推進事業 / 等



地域おこし協力隊の活動の様子

⑯ 市民協働

主な事業

- 1 協働による地域づくりの推進
- 2 市民対話の促進と情報発信力の強化

- 市民参加型まちづくり1%システム支援事業
- 町会活性化支援事業
- 広報ひろさき発行事業 / 等



町会による地域除雪の様子



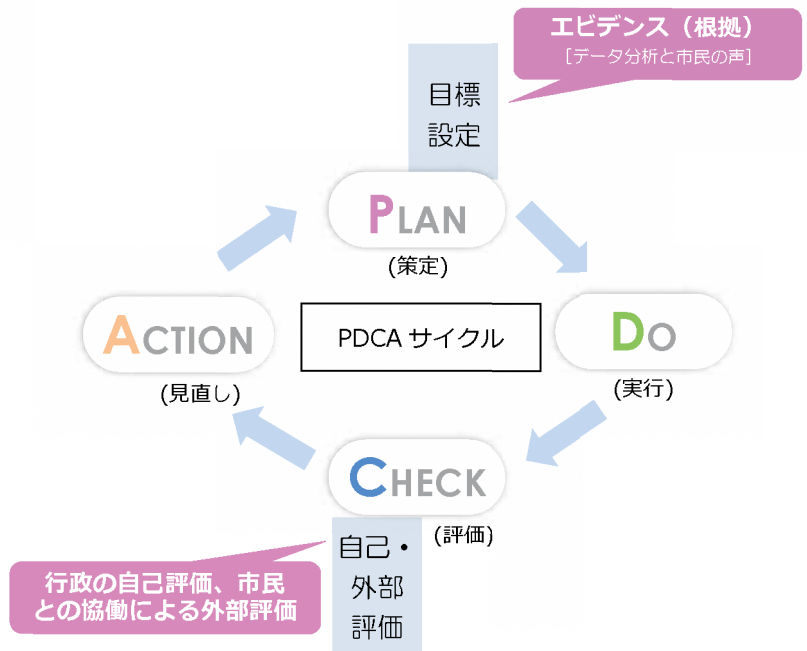
計画の進行管理について

計画の進行管理

本計画を確実に進めるために、「弘前市協働によるまちづくり基本条例」に基づき、市民との協働により毎年度、計画の達成度、執行状況の妥当性を評価し改善策を検討して見直しを行います。

評価にあたっては、明確な目標値を掲げ、その目標値の達成状況を毎年度チェックし、見直しを図っていく、「PDCAサイクル」により進めていきます。

また、定性的な目標として「期待する成果」を掲げるとともに、各種データ分析（定量分析）や市民の生の声（定性分析）を踏まえ、「エビデンス（根拠）」を明確にし、裏付けのしっかりとした効果的で効率的な施策を推進していきます。



健全な財政運営

2025年に向けてさらに財政状況が厳しくなることが見込まれるため、公共施設マネジメントのほか、中期的な財政展望に基づき、2025年頃を見据えて、歳入・歳出のバランスを考慮した適切な財政運営を図ります。

仕事力の強化

多様化・複雑化・高度化する市民ニーズに対応するため、職員という限られた資源をより効果的・効率的に配分するための組織体制の適正化が必要であり、先進技術 AI、IoT、RPA 等の活用、各種研修の実施、働き方改革に関連した取組を行うことで、職員の仕事力を向上させ、安定した質の高い行政サービスを提供していきます。

男女共同参画社会の推進

男女共同参画社会の実現のため、一層の意識の普及・啓発を進めていく必要があり、今後は大学等の授業への講師派遣や女性の活躍推進に取り組む企業の推進、市職員の意識改革などに取り組んでいきます。

「持続可能な開発目標（SDGs）」という新たな理念

持続可能な世界を実現するための国際開発目標で、本計画でもSDGsの理念を視野に入れて進めていきます。



多くの市民・各種団体の皆さんの声を聴き 意見・提案等を反映させた計画をつくりました。

計7回の「Myひろさき創生市民会議」、市内26地区における「市政懇談会」・「市民意見交換会」、各政策分野等での15回の「団体意見交換会」や「将来都市像策定のための市民会議」など、のべ1,000人を超える市民の皆さんのご協力をいただきました。また、「各種市民アンケート」等の結果も参考にし、多くの市民の皆さんの声を聴きながら計画づくりを進めてきました。

総合計画審議会においても活発な議論が重ねられたほか、市職員も市民の皆様の意見を反映したよりよい計画を策定するため、各種統計分析や研修会などを通して政策形成能力の向上を図り、計画をつくりました。



弘前市 企画部 企画課

電 話 0172-40-7021

ファックス 0172-35-7956

Eメール kikaku@city.hirosaki.lg.jp